

## 海洋情報部技報の発刊にあたって

海上保安庁は、明治4年（1871年）に発足した兵部省海軍部水路局以来継続してきた水路部を、平成14年4月1日に海洋情報部に改め、課の構成も企画課、技術・国際課、海洋調査課、環境調査課、海洋情報課、航海情報課の管理・企画2課、調査2課、情報提供2課の体制としました。この組織再編は、近年急速に進展する技術革新、国際化、情報化に対応し、また、環境保全、海上災害の防止に関する業務遂行体制を強化するとともに、航海者のみならず広く国民に海洋に関する情報の提供を行うことをめざしたものです。これと時を同じくして水路業務法を改正し、海図及び水路測量に用いる経緯度を従来の日本測地系からGPS等に用いられ国際標準となっている世界測地系とし、この日までにすべての海図を改版し、船舶の航行安全の確保に寄与したところです。

この「海洋情報部技報」は、昭和58年から刊行してきた「水路部技報」を継承するものとして、海洋情報部が行う技術開発及び調査研究の成果の速やかな公表を目的とするものです。海洋情報部が国民の期待に応えてゆくためには、不断の技術革新と調査研究及びその成果の公表が不可欠であると思います。本「海洋情報部技報」により、これからも多様な成果の公表を行ってまいりますので、各位のご理解を賜りますようお願いいたします。

平成15年3月

海上保安庁海洋情報部  
技術・国際課長 佐々木 稔